

製作総指揮：ヴィム・ヴェンダース

監督：ヴィム・ヴェンダース、ミハエル・グラウガー、マイケル・マドセン、
 ロバート・レッドフォード、マルグレート・オリン、カリム・アイノズ
 (2014年／ドイツ、デンマーク、ノルウェー、オーストリア、フランス、アメリカ、日本／165分／英語／Color／16:9／DCP)

製作・提供：株式会社 WOWOW 配給・宣伝：アップリンク

第64回ベルリン国際映画祭
ワールドプレミア上映

第27回東京国際映画祭
特別招待作品

もしも建物が話せたら

無口なものこそ雄弁だ

世界の名監督6人が描く、6つのストーリー

New Road Movies presents a New Road Movie
 directed by Wim Wenders, Michael Glawogger, Michael Winterbottom, Robert Redford, Margrethe Olie, Karim Aïnouz
 produced by Erwin M. Schmidt, Gian-Piero Ringel executive producer Wim Wenders co-produced by Anne Kohnke,
 Signe Byrge Sørensen, Tommy Pridz, Peter Wirthensohn, Maria Ekerhovd, Charlotte Uta, Laura Michalchyshyn,
 Sidney Beaumont, Nobuya Wazaki, Kayo Washio director of stereography Josephine Derche
 in co-production with Final Cut for Real, Lotus Film, Mer Film, Les Films d'Ici 2, Sundance Productions/RadicalMedia,
 WOWOW, Rundfunk Berlin-Brandenburg in collaboration with Arte, ORF Film/Fersehclubmünchen
 with the support of Medienboard Berlin-Brandenburg, Film- und Mediengesellschaft NRW, Danish Film Institute,
 Österreichisches Filminstitut, Norwegian Film Institute, Nordisk Film & TV Fond, Filmstiftung Austria,
 Aide aux Nouvelles Technologies du CNC, Fritt Ord, Dreyers Fond, MEDIA Programme of the European Union
 International sales Cinephil German distribution NFP marketing & distribution

自主上映会の
ご案内



ベルリン・フィルハーモニー



ソーコ研究所



ハルデン刑務所



ロシア国立図書館



オスロ・オペラハウス



ポンピドゥー・センター

上
映
日

第一回

11/1(土)

第二回

11/8(土)

17:30 ~ 開場

18:00 ~ 上映開始

20:45 終了

■ 参加費

大人 2000 円 子ども / 学生 1000 円

■ 参加対象

11 歳以上 (小学校 5 年生以上)

■ 参加方法

事前の申し込みをお願いします。

定員に達し次第、受け付けを終了致します。

ご了承ください。

■ お支払い方法

当日、現金のみでお願い致します。

■ 服装 & 持参物

1 階の「ひろま」の床に座って鑑賞しますので、座布団、ヨガマットなどのご持参をお願い致します。

3 時間近い作品のため、リラックスできる温かい服装でお越しください。

■ 留意点

飲み物は、持ち込み可能ですが、密閉できる容器に入れてお持ちください。

お食事、アルコールはご遠慮ください。

上映中の貴重品の取り扱いは自己責任にて管理をお願い致します。

■ 会場

鳥取県立美術館 「ひろま」

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町 2 丁目 3-12



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

ヴィム・ヴェンダース製作総指揮!

ヴェンダース、レッドフォードを含む6人の監督が、
思い入れのある建築物の心の声を描き出す、
オムニバス・ドキュメンタリー。



ヴィム・ヴェンダース
『セバスチャン・サルガド/地球へのラブレター』
『ベルリン・フィルハーモニー』(ドイツ・ベルリン)

五角形のホールが印象的な、2013年に50周年を迎えた文化の中心的建物。ヴェンダース監督『ベルリン天使の詩』に登場するポツダム広場に隣接している。

©Donata Wenders 2005



ロバート・レッドフォード
『リバー・ランズ・スルー・イット』
『ソーグ研究所』(アメリカ)

レッドフォードが11歳の時にかかったポリオの予防接種を開発したソーグ研究所。小規模ながらも研究論文の引用率は世界でも1.2を争う。

©Kristina Loggia



マイケル・マドセン
『100,000年後の安全』
『ハルデン刑務所』(ノルウェー・ハルデン)

再犯率がヨーロッパで最も低いノルウェー。世界一人道的と言われるこのハルデン刑務所は懲罰よりも更生・社会復帰を目的としている。

©Søren Søkær Starbird



ベルリン・フィルハーモニー

©Wim Wenders



ソーグ研究所

©Alex Faik



ハルデン刑務所

©Heikki Õhm



ロシア国立図書館

©Wolfgang Thaler



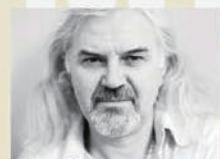
オスロ・オペラハウス

©Øystein Mamen



ポンピドゥー・センター

©Ali Olsay Gozkeye



ミハエル・グラウガー
『Whores' Glory』

「ロシア国立図書館」(ロシア・サンクトペテルブルク)
本作が遺作となったグラウガー監督は、ロシアで発行された印刷物はなんでもそろそろロシア最古の公共図書館を、読書家だった両親への思いとともに綴る。

©Michael Glawogger



マルグレート・オリン
『Nowhere Home』

「オスロ・オペラハウス」(ノルウェー・オスロ)
監督の地元ノルウェー・オスロの海面からそり立つ氷山を思わせるデザイン、建物の屋根まで歩いて登れるオスロ・オペラハウスはスノーヘッタ設計で2008年に完成した。

©Speranza Film



カリム・アイノズ
『Praia Do Futuro』

「ポンピドゥー・センター」(フランス・パリ)
カリム・アイノズが17歳の時に移り住んだパリで、現代芸術を後押しした大統領ジョルジュ・ポンピドゥーが発案した総合文化施設。

©Anna Luiza Müller

建物は、あなたが考えている以上に世界に影響を与えていた。

外から見れば私は小さいが、開かれた社会という理想郷が私の中に実現している

(ベルリン・フィルハーモニー/ヴィム・ヴェンダース)

本作は WOWOW「国際共同制作プロジェクト」として制作されました
各国のメディアやクリエイターと共に制作する WOWOW の新たな試みが「国際共同制作プロジェクト」です。国際性豊かなオリジナル番組づくりを目指して、WOWOW の挑戦は続きます。

<http://www.wowow.co.jp/documentary/original/international/>

第一回

11/1 (土) 第二回

11/8 (土)

17:30 ~ 開場
18:00 ~ 上映開始
20:45 終了

■会場

鳥取県立美術館 「ひろま」



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

■主催者の気持ち

言葉なきものへの気持ちになってみたらどうだろうかと、イメージと思いやりを膨らましたいなと選びました。そういうが目線で日々を見ることが出来たら楽しい発見が増えることを期待して。